



## 清陵が目指すもの

校長 佐藤 尚登



3月11日の震災をきっかけに、多くの人々がこれまでの生き方を振り返り、これからの自分は、地域は、国は、そして世界はどうあるべきかを考えています。清陵高校もこの課題に学校として向き合っていかなければならないと思います。

本校は明治28年(1895年)以来、117年にわたって諏訪市清水町の丘陵に歴史を重ねてきました。そして、ここで学んだ21,000名を超える卒業生は地域や国内はもとより、広く世界にはばたき様々な分野で活躍しています。724名の在校生も、先輩に続いて自らの能力を存分に発揮するために必要な基礎力を獲得しようと、日々の授業、学友会活動、クラブ活動に全力で取り組んでいます。本校生がその能力を発揮することが期待される分野は、高いレベルの使命感、判断力、知識等が求められるものであり、多くの場合高校卒業後上級学校で学ぶことが必要となります。ですから本校生にとって必要な基礎力とは、大学を始めとする上級学校に合格する力はもちろん、進学後もたゆまず学び続けることのできる真の学力です。

ところで、現代の科学技術の限界を思い知らされた私たちは、その限界を克服するものもまた科学技術であることを知っています。本校は、長い歴史の中で科学教育において優れた実践を積み重ねてきました。平成14年の文部科学省によるスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)指定以来、今日まで継続して活動を展開しているのもその伝統の上に立つものです。本校では誰でも希望すればSSHの多彩なプログラムで、充実した理数教育を受けることができます。もちろん文科系の進路希望を持つ人にも、希望を実現するための教育課程やきめ細かな進路指導体制が用意されています。

また本校は、3年後の平成26年には併設型中高一貫校としての新たな歴史を刻み始めます。創立以来一貫して地域の俊秀を集め、互いの切磋琢磨を通じて有為な人材に育ててきた本校の役割は、これからも揺らぐことはありません。引き続き、諏訪清陵高校にご期待ください。

## 第61回清陵祭開催される(7月1日~4日)

テーマ: 殊誇(しゅこ) (物事の程度が同種の物とかけ離れていて、これを誇りとするということ造語)



アーチ コモンスペース 仮装行列 化学部  
合唱コンクール  
民 ファイアーストーム

## これからの行事予定

8月	1日	中学生体験入学
9月	5日	端艇大会
	13日~16日	第2回定期考査
	27日	クラスマッチ
10月	15日	授業公開・PTA講演会
	20日	湖周マラソン
11月	8日~11日	2年研修旅行
	9日~11日	1・3年第3回定期考査
	21日~24日	2年第3回定期考査



多くのご来校ありがとうございました。バザー売上は日本赤十字社を通じて東日本大震災義援金として寄付をいたしました。ご協力ありがとうございました。



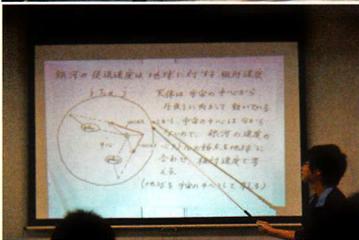
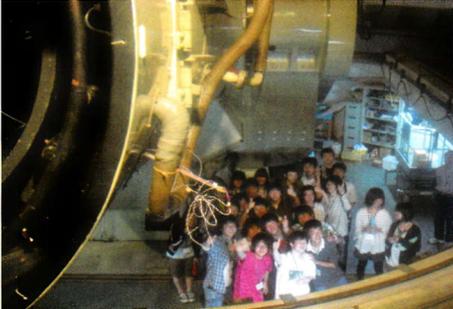
## スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

SUPER  
SCIENCE  
HIGH SCHOOL

未来を担う科学技術系人材育成のために先進的な理科教育を行う文部科学省の指定校です。

本校は平成14年度に指定され、今年で3期目の10年目を迎えました。

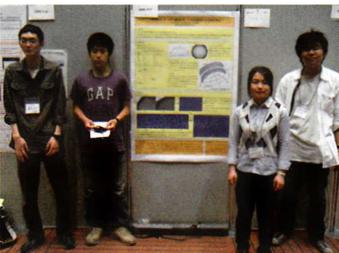
### 東京大学木曾測候所天文研修「星の教室」



#### 生徒の感想

- ・実習が始まったばかりの時は公式や考え方があまり理解できず、とても大変でした。宇宙の年齢を求めるのに、1日目は表やグラフを見ても、そこからどう考えていけばよいかわからずとても不安でした。ですが2日目の朝、ふと解き方を思いついて、それを確かめるためにさらにデータ数を増やしたり、友だちと話し合ったりして、とても充実した時間になりました。最終的には自分たちで答えらしきものを出すことができ、本当に嬉しくて感動しました。
- ・他の班の考え方や答えや証明のしかたなど、自分たちと違っていろいろなやり方があるんだなぁと感じました。
- ・今回のワークショップではずっと頭を使っていたので、テスト前と同じくらい大変でした。でもやり始めるとのめり込んでしまって、すごく時間が過ぎるのめはやくて楽しかったです。何かよい考えがひらめいたときは、試合で点を取った時と同じくらいうれしくて爽快でした。そして、自分たちなりに宇宙の年齢を求めることができ、満足しています。またこういうワークショップがあったらぜひ参加したいと思いました。

### 千葉県幕張メッセ「日本地球惑星科学連合2011年大会」にて研究成果を発表しました



#### 生徒の感想

- ・高野豆腐の研究で学会発表ができ、満足です。やはりそれまでの研究をまとめる理論付けをするのはとても大変で、そのあたりは担当していただいた先生に感謝、感謝です。
- ・学会の空気は本当に清少納言の「をかし」がぴったりで、某大学名誉教授から一般のおじさん、あばさんまで、訪れたいろいろな人に自分の研究内容を説明し、終始ドキドキしっぱなしでした。もう一度、学会に行きたいと思いました。
- ・地球惑星科学連合大会は、私にとっても初めての学会参加でした。大会には高校生だけでなく、企業や大学など、数多くの研究機関も参加しており、並大抵の規模でないことも実感させられました。
- ・高校生ポスターセッションでは、最初はあたふたしてしまっただけけれど、何回か説明を続けていると次第にスムーズに話を進めていけるようになりました。他の高校の発表を聴いてみると、実に堂々としていてかっこよかったです。
- ・この日の学会で、見ていただいた方からいろいろ指摘されたところがありました。また、説明のしかたなどとても勉強になりました。何より"学会"の雰囲気味わえたことが大きな経験となったと思います。

### 諏訪市文化センター「サイエンスフォーラム～お勉強の仕方＆脳のだまし方～」

#### 諏訪東京理科大学教授 篠原 菊紀 氏

はじめに生徒によるアラスカ研修報告会があり、そのあと篠原先生の講演をお聞きました。

#### 生徒の感想

- ・睡眠は大事ななあ、とつくづく思いました。学習でも睡眠が大事で、深く関わっていることがわかり、規則正しい生活をしたいと思いました。
- ・先生がとても个性的で楽しく講演を聴くことができた。文を覚える実験とか、ワーキングメモリーの実験など解り易い講演だった。
- ・いつものサイエンスフォーラムとは少し違った雰囲気の講演で、ときどき問題も交えていて、全く眠くならず、楽しみつつお話を聞くことができました。





# 卒業生の言葉

今年度卒業生から清陵の思い出、大学生活の様子などを聞かせてもらいました。

北海道大学  
総合文系

八幡 智子



私が大学生活を始めて一番強く感じたことは、本当に何をするかは自由なのだ、ということです。そして、自由という何でも自分の好きなようにできることだと思っていましたが、裏を返せば全て自分でやらなければならないということなのだと思い知らされました。最初は家事にお金の管理、新しい人間関係、新しい町と慣れないことばかりそして自分でやらなければならないことばかりの生活に戸惑い、また勉強においてどの授業を受けるか、どの様な時間割を組むかという決断を迫られても、どこか人任せにしていました。ところがある日私は、何かをやるという目標を持つこと、そしてそれに向かって何をすればいいのか考えること、そしてそれをやり抜くことが大切なのではないかということに気が付きました。それからは怠けなくなったときには、諏訪湖一周マラソンを思い出すようにしています。運動の苦手な私にとって諏訪湖一周は長い道のりで、特に「うしまさ坂」とその後の急な下り坂は辛いものでした。しかしだからこそ完走したときのあの達成感は忘れられません。その経験のおかげで、一步一步自分のペースで自由に走っていれば必ずゴールはあると信じて、今ではどんなことにも前向きに取り組み、充実した生活を送っています。私にとって清陵高校での3年間は、大切な経験を得ることができた、貴重な3年間でした。これからもいろいろな場面で経験を活かして大学生活を楽しみたいと思います。

信州大学  
医学部医学科

中野 優



大学に入って三か月が経ちました。勉強や部活にバイトとかなり忙しい大学生活を過ごしています。僕がいる医学科では年齢層が広く、色々な地域から人が集まっています。みんな非常に個性的な人ばかりです。多くの人から色々知らなかった話を聞くことができとても面白いです。

一年前期の今はまだ医学の専門的な講義は少なく、数学や物理、化学などの基礎科目や英語、一般教養科目を主に勉強しています。一般教養科目は「ドイツの文学」、「芸術作品と環境」、「映画史」など正直に言って医学とは全く関係のないものですが様々な知識を得ることができてとても面白く感じています。

信州大学は地元だけに医学科内でも清陵出身の人が多く、先日、清陵出身の医師の先生や学生の懇親会である「清陵会」がありました。みんなで清陵時代の思い出話をしたり、あの長い校歌を歌ったりして非常に盛り上がりました。そこで思ったのはやはり清陵はすごく素敵な高校だということです。自由な校風で勉強や部活、学友会に一生懸命取り組むことができる最高の環境だと思います。僕自身もこの恵まれた環境で充実した三年間の高校生活を思いっきり過ごすことができたからこそ今の自分があると思っています。

高校時代は本当にあっという間に終わってしまいます。みなさんも自分のやりたいことを思いっきりやって、清陵生活を満喫してください！

## 3年進路係より

4月に行った進路希望調査では、ほぼ全員が4年制大学への進学を希望しています。学校としては進路実現に向けていかにサポートしていけるかを考えています。2年の後半から金曜テストが始まりました。放課後の1時間を使って国・数・英のいずれか1科目のテストを行って来ています。3年前期も月に2回のペースで金曜テストを行っています。今年の学年は1年のときから生活実態調査をほぼ毎月行ってきました。6月で通算23回になりました。少しずつ学習習慣も定着してきているようです。7月の清陵祭明けに河合塾より講師を招いて進路講演会を行いました。(麴町校舎長 高野英悟氏、立川校舎長 箱崎 恒氏、新宿校舎長 齊藤淳一氏) 医学部医学科をはじめ、学部系統や入試の難易度を意識した学習について話していただきました。また、前期は月に一回のペースで、後期は月に2回のペースで全員対象の校外模試が計画されています。たとえ受験勉強でも学校の授業が一番大事であることは多くの卒業生が合格体験記で語っていることですが、業者の模試も有効に活用して全国レベルの実力を確認していきたいと考えています。



自反室 (自習室)



## 県

### 大会の結果

主なもののみ掲載

#### 長野県高等学校総合体育大会

<男子バスケット部>

①清陵66-26上田東②清陵55-57長野俊英

<女子バスケット部>

①清陵42-100文化学園長野

<バドミントン>

男子学校対抗①清陵1-3長野市立長野

男子ダブルス①濱・小松0-2武田・平林(大町北)

男子シングルス①濱0-2安藤(松代)

<男子硬式テニス>

団体戦①清陵1-2野沢北

<陸上>

女子400m 山田結花6位 15名県大会出場

<剣道>

男子団体(井出弘・吉池・井出悠・小口・平林・河西・笠原)

予選リーグ1位 決勝トーナメント 清陵2-3深志 【ベスト8】

女子団体(奥野・徳田・降旗・松澤・寺島)

予選リーグ 清陵0-4美須々 清陵0-5屋代 清陵3-2清泉

<サッカー>

①清陵3-1東御清翔②清陵0-4東京都市大塩尻 【ベスト16】

<端艇>

シングルスカル

笠原美瞳決勝A1位 花岡諒一郎決勝A2位 須田元輝決勝A3位

ダブルスカル

清陵A(今井・唐澤)決勝A2位 清陵B(加藤・鈴木)決勝B1位

清陵A(駒形・土田)決勝A1位 清陵B(原・須田雄)決勝B1位

クオドルブル 清陵B(柄沢・吉原・守野・唐澤・野村)決勝B1位

清陵(高原・有賀・藤森・関・大槻)決勝A1位

清陵A(山崎・伊藤・後藤・河西・酒井)決勝A1位

#### 北信越地区高等学校野球長野県大会

①清陵0-2飯山

#### 高円宮杯U-18サッカーリーグ

長野県2部に出場中

#### 長野県高校将棋選手権大会

男子団体戦①清陵2-1伊那北B②清陵1-2松本深志B

#### 長野県高校かるた大会

団体戦決勝 清陵4-1飯田

個人の部 奥村雪菜2位 小松加奈3位

## 北

### 信越大会の結果

北信越高等学校体育大会ボート競技大会 (H23.6.18~19) 石川県津幡漕艇競技場

男子 シングルスカル 花岡諒一郎 B決勝1位 須田元輝 B決勝6位 ダブルスカルA(駒形・土田) A決勝3位

舵手付きクオドルブルA(山崎・伊藤・後藤・河西・酒井) A決勝4位 【学校対抗男子2位】

女子 シングルスカル 笠原美瞳 A決勝2位 ダブルスカル(今井・唐澤) A決勝3位

舵手付きクオドルブル(高原・有賀・藤森・関・大槻) A決勝2位 【学校対抗女子2位】

北信越高等学校体育大会陸上競技大会 女子 400m 山田結花 予選敗退

## ク

### クラブ紹介 24

## 生物部

こんにちは。生物部です。

生物部は伝統のある部活で、最盛期には部員が百人以上もいて、グループに分かれて大規模な活動を行っていました。しかし、今では部員の数的大幅に減ってしまい、活動も小規模なものとなりました。

それでも私たちは、先輩方が代々引き継いできた研究をできるだけ次の世代へと継続させるために、日々活動しています。

そのひとつは、諏訪湖の微生物の研究です。月に諏訪湖で採取した微生物を顕微鏡で観察し、その生態や数の推移を調べています。

また、近年始めた研究として、大根の抗菌作用についても調べています。その結果を鹿児島で行われた大根多様性コンソーシアムで発表しました。コンソーシアムはSSH(2頁参照)が主体となっているため、全国の高校生が集まる中での発表はとても貴重な経験になりました。コンソーシアムは毎年開かれているため、今年もそれに向けて研究を進めています。

1年生の中には、高校周辺の野鳥の研究を計画している部員もいます。

これらはあくまで全体として行っている活動です。基本的には、自分がやりたいと思ったことを、好きなときに好きなだけやることができる、自由な部活です。

私たちは、生命の神秘を追い求め、日々努力しています。 生物部部长 武居秀和



人気のウーパールーパー



諏訪湖のケンミジンコ



微生物採取の様子

端艇部  
インターハイ出場!